

はまなか野鳥分布図

浜中町には無人島を含む岩礁や砂浜の海岸、湿原やいくつかの汽水の沼、広大な丘陵平地林と、コンパクトに多様な自然環境が存在します。そのため、水辺や山野の鳥がバランス良く生息しています。



浜中町自然環境プロデューサー
北海道アウトドアガイド(自然・カヌージュニア) 内田 愛実さん

私は2022年から、浜中町地域おこし協力隊員として霧多布湿原センターを拠点に、湿原ガイドや野鳥観察会などに携わり、自然の楽しさをたくさんの人にお伝えしてきました。道内でもワシやタンチョウは珍しく、地元の人達は適切な距離を保ち、生息場所となる自然環境を守りながら共存しています。外へ一歩出ると日々、新たな発見があります。野鳥の調査中にアザラシがいたり、珍しい鳥が現れたり、必ず何か発見があるのが自然観察の醍醐味であり、浜中町のおもしろ味の一つです。

死んでいる野鳥を見つけたら、
浜中町農林課
林務係まで
お問い合わせをお願いします。
TEL
0153-65-2193

観察・撮影 ガイドライン 野鳥編

デジタルカメラの普及に伴いアマチュアカメラマンが増加し、野鳥の観察や撮影マナーを知らずに撮影を始める方も増えました。また、SNSが急速に拡大したことで、より良い写真を撮りたいという欲求を満たすため、マナーに反する行為をしてしまうケースもみられます。自然観察の前に、観察・撮影ガイドラインをご一読の上、ルールを尊重するようお願いいたします。

- 観察・撮影
ストレスを与えないように野鳥との距離を取る
- 営業中、育雛中の野鳥や巣へは近づかない
- 音声による誘引はしない
- 餌付けによる誘引はしない
- 営業中の写真・映像をSNSで公開しない
- 写真コンテストにはマナーを守って撮影した写真を応募する
- 歩道や観察路から外れないようにする
- 撮影にフラッシュ・ストロボを使用しない
- 私有地や団体所有地へ侵入しない
- 公園等公共の場のマナーを守る
- 交通規則を守り交通の妨げにならない場所に駐車する
- 詳しい撮影地は公開しない
- 稀な渡り鳥等の画像や映像、情報は、鳥が撮影地からいなくなってから
- 死んでいる野鳥に触れない
- 他のお客様・撮影者へ配慮する
- プライバシーを守る
- 立ち入り禁止場所へ侵入しない

〈参考文献〉
公益財団法人 日本野鳥の会
野鳥観察・撮影の初心者の方に向けた、
マナーのガイドライン

公益財団法人
日本野鳥の会



レッドリスト

レッドリストとは、絶滅のおそれのある野生生物の種のリストです。国際的には国際自然保護連合(IUCN)が作成しており、国内では、環境省のほか、地方公共団体やNGO等が作成しています。



浜中町の野鳥リスト

動物なので必ず見られるとは限りません

日本で確認されている鳥類は、一般社団法人 日本鳥学会「日本鳥類目録改訂第8版」(2024年9月発行)によると690種となっていますが、「霧多布湿原生きものリスト2018」(NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト)によると、浜中町では293種の鳥が確認されています。その一部をご紹介します。

浜中町
霧多布湿原の鳥ごよみ
[霧多布湿原センター]



○ 湿原で見られる野鳥 ● 森林で見られる野鳥 □ 岬を含む海沿いで見られる野鳥 ■ 環境省レッドリスト ▲ 北海道レッドリスト

※環境省及び北海道レッドリスト記載情報は、2024年11月現在のものです。